



2022年8月4日

各位

会社名 株式会社ヨコオ
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 徳間孝之
(コード番号 6800 東証プライム市場)
問合せ先 取締役兼執行役員専務 深川浩一
(TEL 03-3916-3111)

営業外収益（為替差益）の計上並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年3月期第1四半期連結累計期間における営業外収益（為替差益）の計上並びに2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年6月30日まで）において、急激な為替相場の変動により、為替差益1,916百万円を営業外収益に計上いたしました。

なお、上記の金額は、当社グループが保有する外貨建て債権・債務の決済及び期末為替レートによる評価替えで発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

2. 業績予想修正の内容

(1) 第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～9月30日）

| | 前回発表予想 (A) (2022年5月13日 公表) | 今回修正予想 (B) | 増減額 (B-A) | 増減率 (%) | (ご参考) 前年同四半期累計実績 (2021年4月1日～9月30日) |
|----------------------------|----------------------------------|---------------|--------------|---------|--|
| 売上高 (百万円) | 33,700 | 37,900 | +4,200 | +12.5 | 30,969 |
| 車載通信機器 | 18,500 | 20,500 | +2,000 | +10.8 | 18,843 |
| 回路検査用コネクタ | 10,500 | 12,600 | +2,100 | +20.0 | 7,540 |
| 無線通信機器 | 4,700 | 4,800 | +100 | +2.1 | 4,585 |
| 営業利益 (百万円) | 2,700 | 2,700 | — | — | 2,003 |
| 車載通信機器 | △425 | △2,000 | △1,575 | — | △488 |
| 回路検査用コネクタ | 2,550 | 4,200 | +1,650 | +64.7 | 1,755 |
| 無線通信機器 | 575 | 500 | △75 | △13.0 | 736 |
| 経常利益 (百万円) | 2,400 | 3,700 | +1,300 | +54.2 | 2,202 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円) | 1,650 | 2,450 | +800 | +48.5 | 1,526 |
| 1株当たり四半期純利益 (円銭) | 70.78 | 105.1 | — | — | 66.86 |

(2) 通期 (2022年4月1日～2023年3月31日)

| | 前回発表予想 (A) (2022年5月13日 公表) | 今回修正予想 (B) | 増減額 (B-A) | 増減率 (%) | (ご参考) 前期実績 (2022年3月期) |
|---------------------------|----------------------------------|---------------|--------------|---------|-----------------------------|
| 売上高 (百万円) | 73,000 | 76,000 | +3,000 | +4.1 | 66,848 |
| 車載通信機器 | 41,000 | 41,600 | +600 | +1.5 | 40,081 |
| 回路検査用コネクタ | 21,500 | 24,800 | +3,300 | +15.3 | 17,625 |
| 無線通信機器 | 10,500 | 9,600 | △900 | △8.6 | 9,141 |
| 営業利益 (百万円) | 7,000 | 7,000 | — | — | 4,684 |
| 車載通信機器 | 0 | △2,000 | △2,000 | — | △1,443 |
| 回路検査用コネクタ | 5,600 | 8,000 | +2,400 | +42.9 | 4,871 |
| 無線通信機器 | 1,400 | 1,000 | △400 | △28.6 | 1,256 |
| 経常利益 (百万円) | 6,700 | 8,000 | +1,300 | +19.4 | 6,529 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円) | 4,700 | 5,500 | +800 | +17.0 | 4,663 |
| 1株当たり当期純利益 (円 銭) | 201.62 | 235.94 | — | — | 202.28 |

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間 (上期)

売上高につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、全社売上高及びセグメント別売上高を上記2.(1)のとおり修正いたします。

営業利益につきましては、回路検査用コネクタセグメントにおいて増収及び円安効果に伴う増益が見込まれる一方で、車載通信機器セグメントにおいて、物流費や原材料価格高騰による急激なコストアップに対する販売価格の見直しは交渉中であることから上期では見込まず、上記2.(1)のとおり修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、想定為替レートを本年8月以降当期末まで1米ドル=130円とし、為替差益1,000百万円を見込み、上記2.(1)のとおり修正いたします。

(2) 通期

売上高につきましては、下期において回路検査用コネクタセグメントの増収が見込まれるものの、車載通信機器及び無線通信機器セグメントの受注見通しを踏まえ、上記2.(2)のとおり修正いたします。

営業利益につきましては、車載通信機器セグメントにおいて、生産現場における原価低減活動及び販売価格の見直しによる損益改善を下期から見込むほか、回路検査用コネクタセグメントにおいて増収に伴う増益が見込まれることから、上記2.(2)のとおり修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、想定為替レート1米ドル=130円の下、下期での為替差損益は発生しないものと見込み、上記2.(2)のとおり修正いたします。

4. 予想の前提となる条件等

2023年3月期の業績見通しにつきましては、予想の前提となる条件を次のとおり想定しております。

- ・新型コロナウイルス感染症は依然として収束の兆しが見えず、予断を許さない状況が続くと予想されますが、当社生産拠点におきましては感染防止対策を最重点として徹底することにより、安定稼働できるものと想定しております。
- ・当社の主要市場である自動車市場につきましては、世界的な半導体不足・部品供給停滞の影響が上期中は継続するものと想定しております。
- ・半導体検査市場につきましては、テレワーク拡大などに伴うハイエンド PC 向けやサーバ向け需要の増加により旺盛な受注が続いておりますが、スマートフォンの販売が減少傾向にあるなど懸念材料が出てきており、高水準ながら伸びは鈍化するものと想定しております。
- ・携帯通信端末市場につきましては、スマートフォンの販売が減少傾向にあるほか、世界的な半導体不足の影響による POS 端末など電子機器端末の伸び悩みが見込まれ、当期中は継続するものと想定しております。
- ・先端医療機器市場につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う医療現場の逼迫は、国内は再び強まっている一方、海外はワクチン接種の進展と各国のウィズコロナへの方針転換などにより緩和され、需要は横ばいになるものと想定しております。

(注) 本資料に記載の予想数値は、公表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上